

印影ビットマップファイル作成手順書

この手順書は「bmp2han3041a_ユーザズガイド_改訂 1」から部分的に抜粋した文書です。

印影ファイル作成の大まかな手順

- 1) 印影をビットマップファイル(.bmp)として作成します。
サイズ 128X128 ピクセル、白黒2値（モノクロ）で作成します。
- 2) 作成した BMP ファイルを 印影ファイル(.han)に変換します。
変換には印影ファイル変換ツール bmp2han.exe を用います。

印影をビットマップファイルとして作成します。

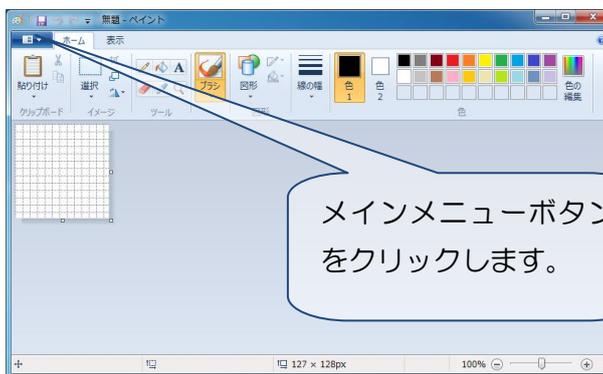
ビットマップファイルの作成は Windows に標準装備されている「ペイント」を用いることができますが、イラストレータなどの他のアプリケーションを用いてもかまいません。以降の説明では「ペイント」を用いた場合について説明いたします。

Windows に標準で備わっている「ペイント」は Windows7/Windows Vista と WindowsXP とでは操作方法が大きく異なります。別々に説明いたします。

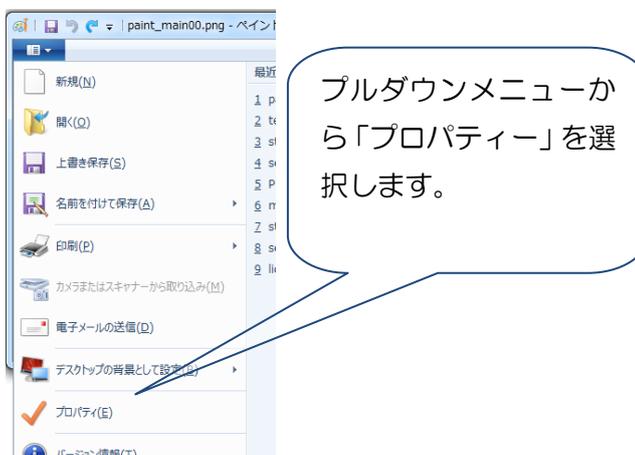
【Windows7/Windows Vista の場合】

Windows のスタートメニューから「プログラム・アクセサリ - ペイント」を選択し、ペイントを起動します。

メインメニューボタンをクリックします。



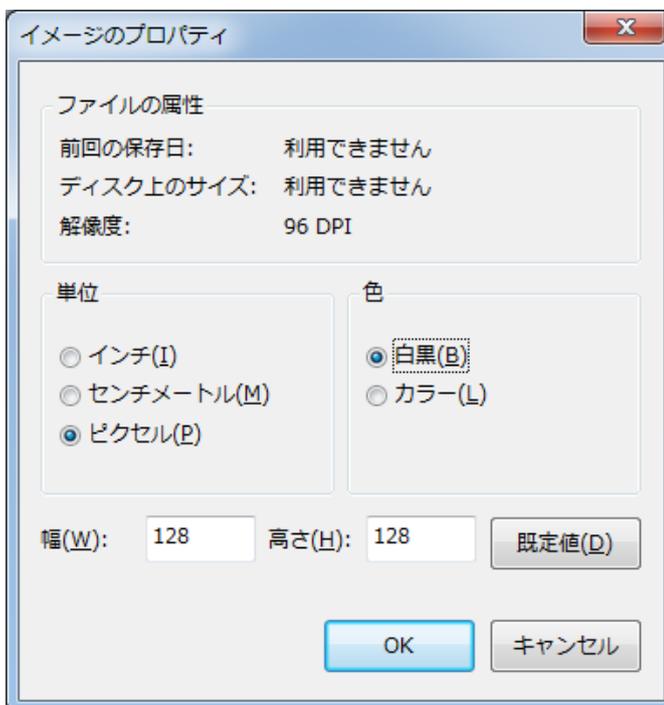
プルダウンメニューから「プロパティ」を選択します。



キャンパスの色とサイズを次のように設定します。

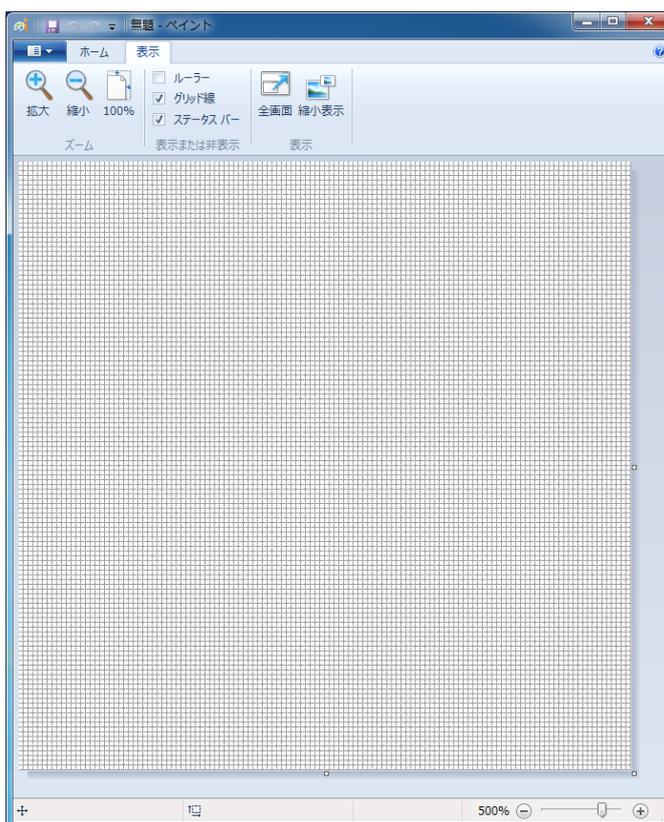
幅：128ドット
高さ：128ドット
単位：ピクセル
色：白黒

注) 印影変換ツール *bmp2han* 付属の *TEMPLATE.BMP* を開けば自動的に上記の設定になります。



印影の描き方は様々ですが、一般的な方法を説明いたします。

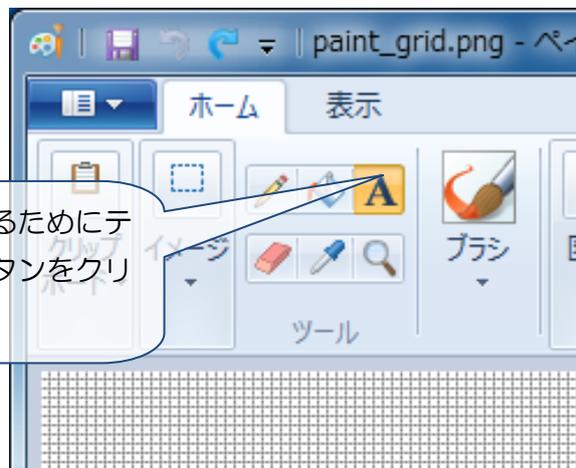
表示タブを開き、適当に拡大し、グリッド線を表示すると作業がやり易くなります。



文字を入力するためにテキスト入力ボタンをクリックします。

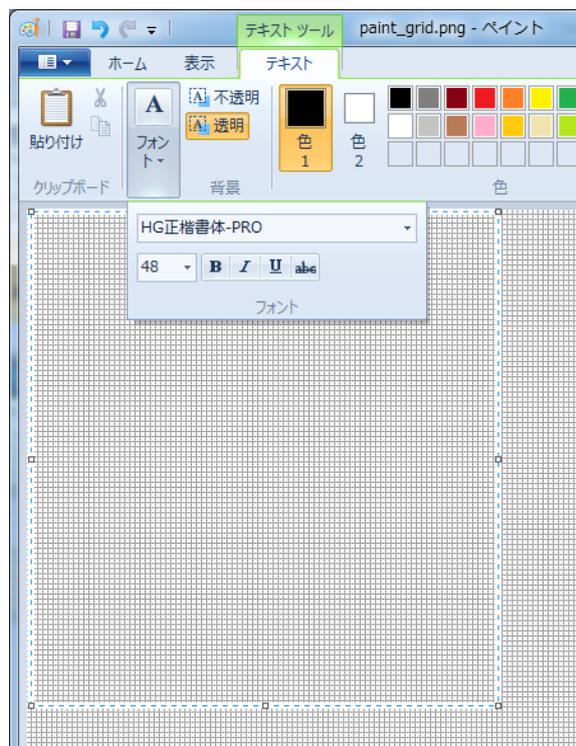
。

文字を入力するためにテキスト入力ボタンをクリックします。

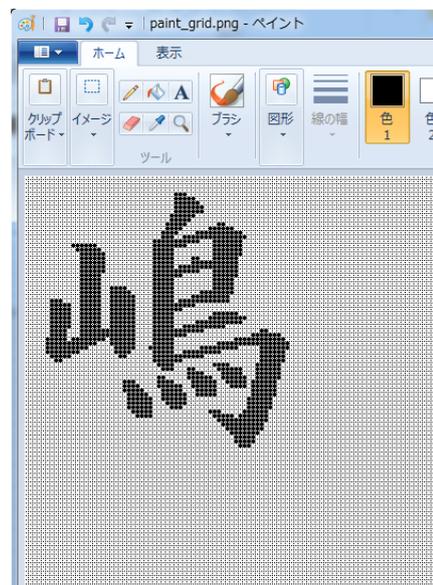


文字を入力するエリアを指定し、フォントと文字サイズを選択します。

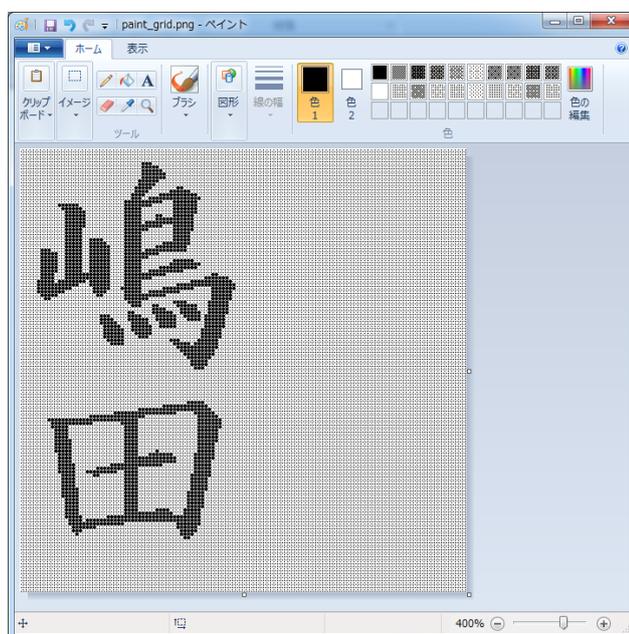
2文字の印鑑でしたら48ポイント、3文字の印鑑でしたら33ポイントぐらいが適当です。



1 文字目を入力します。

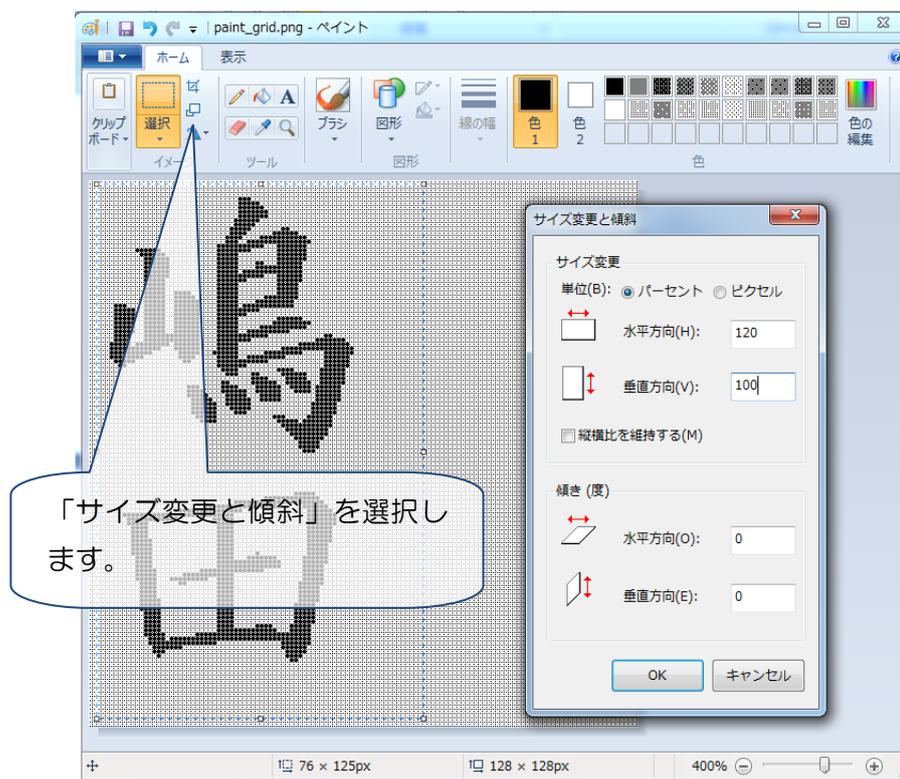


1 文字目の下に同様の操作で2文字目を挿入します。

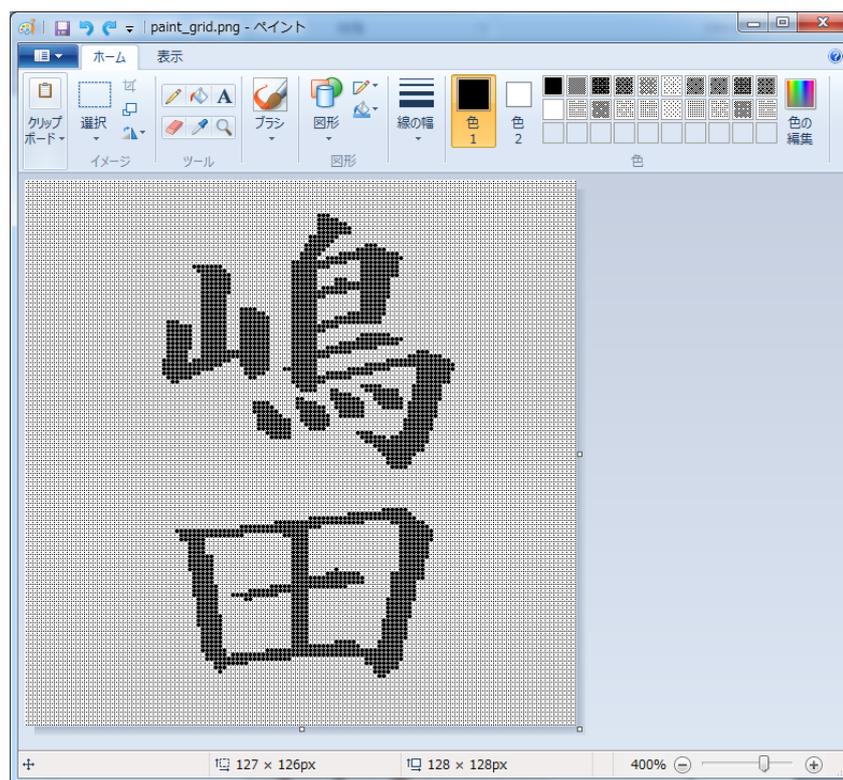


挿入した2文字を囲みます。

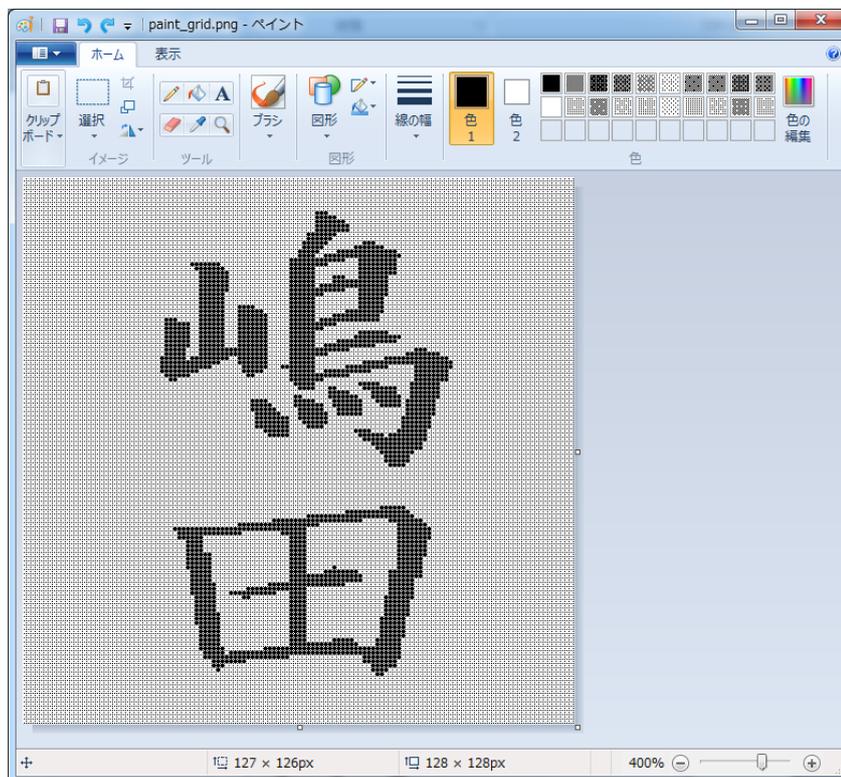
「サイズ変更と傾斜」を選択し、文字を適当に横伸ばしします(任意)。



文字を中央に移動し、文字間を適当に詰めます。

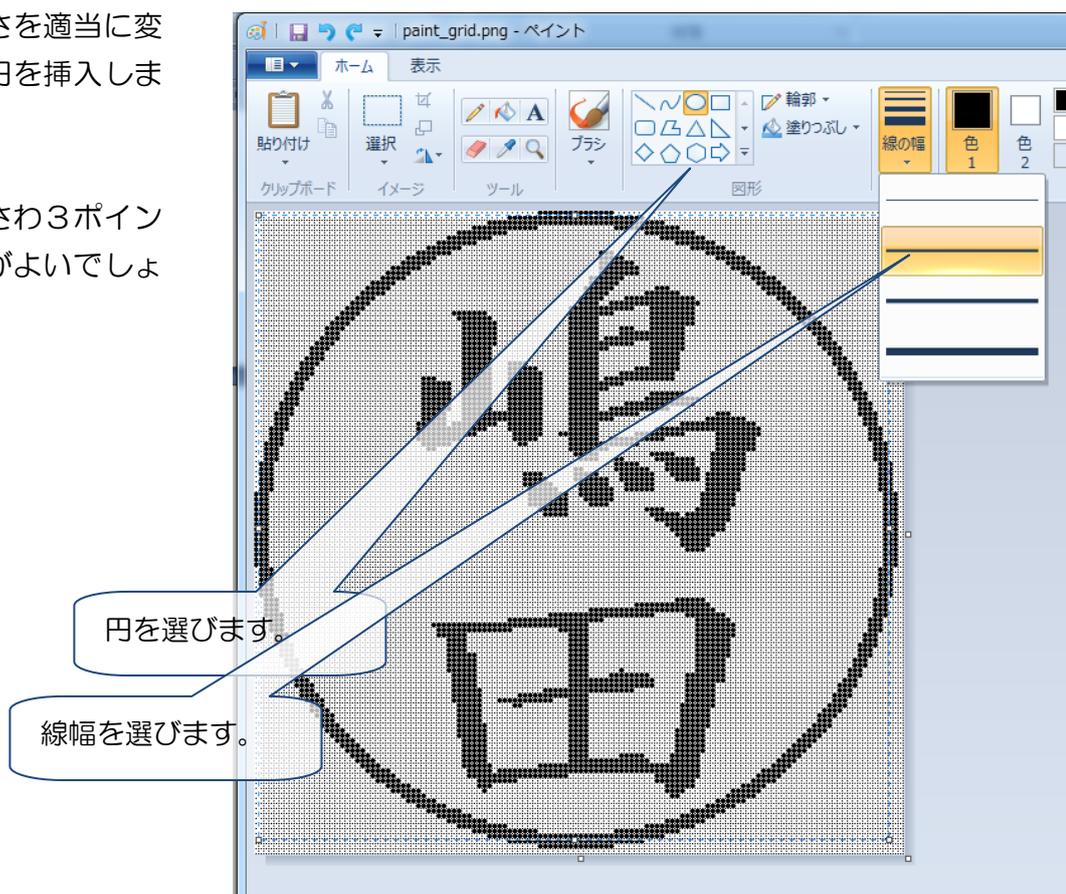


文字を中央に移動し、
文字間を適当に詰めます。

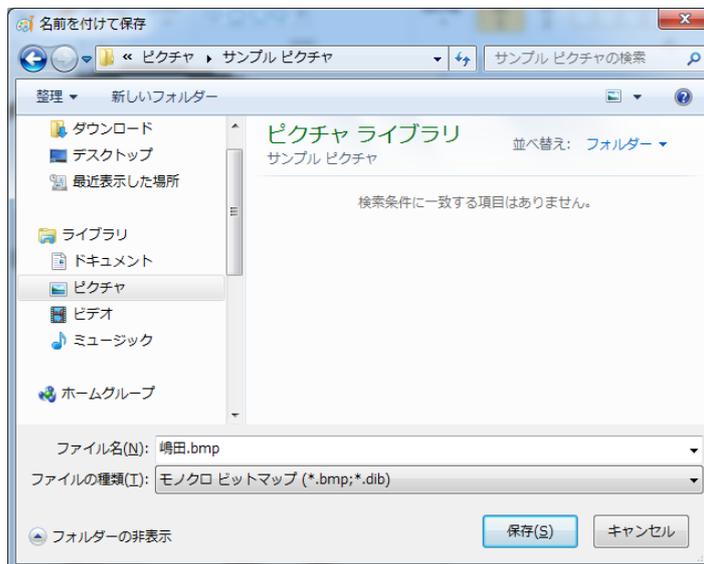


線の太さを適当に変更し、
円を挿入します。

線の太さわ3ポイント
程度がよいでしょう。



モノクロビットマップとして
保存します。



ファイルサイズは2110バイト
になっているはずですが。

念のため確認します。



これで、印影ファイルの基になる印影ビットマップファイルは完成です。印影ファイル変換ツール bmp2han
を用いて印影ファイルに変換することができます。

【WindowsXP の場合】

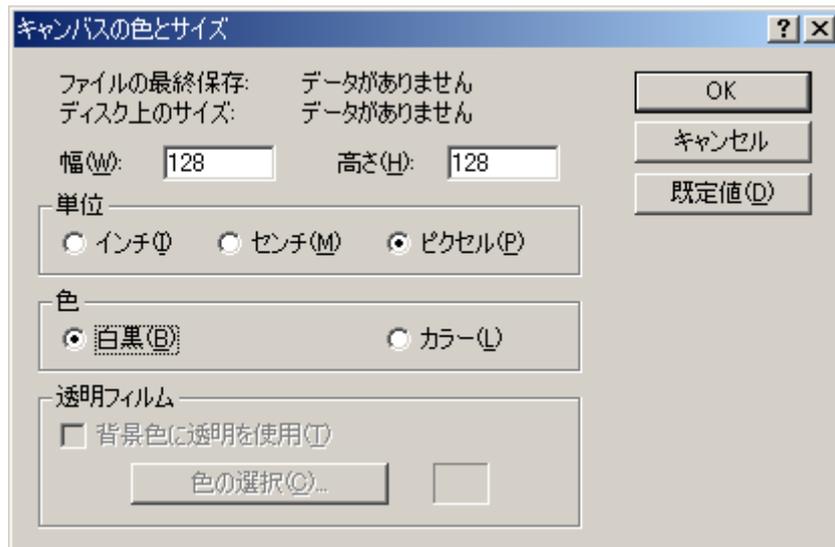
Windows のスタートメニューから「プログラム-アクセサリ - ペイント」を選択し、ペイントを起動します。メニュー「変形 - キャンパスの色とサイズ」を選択し、キャンパスの色とサイズを次のように設定します。

サイズ：128ドット×128ドット

単位：ピクセル

色：モノクロ

注) 印影変換ツール *bmp2han* 付属の *TEMPLATE.BMP* を開けば自動的に上記の設定になります。



A-3. 印影を描く

印影の描き方は様々ですが、一般的な方法を説明いたします。

注意) 操作をやり易くするために表示を拡大すると文字が挿入できないようです。

手順1) 拡大表示している場合は標準に戻します。

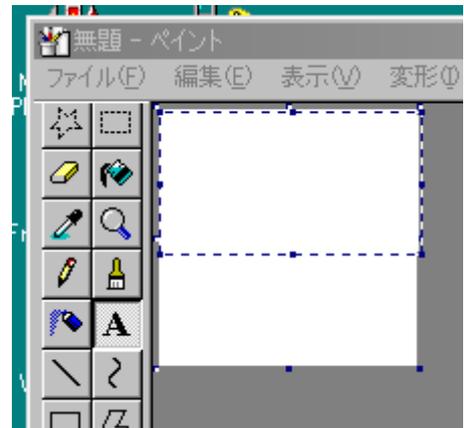
メニュー「拡大」⇒「標準に戻す」

手順2) 文字を挿入するため操作パネルが



を選びます。

手順3) 文字を挿入するための枠をマウスで設定します。

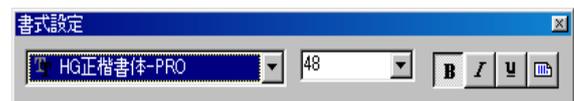


手順4) 書式バーが表示されていない場合は表示します。

メニュー「表示」⇒「書式バー」

手順5) フォントは任意ですがここでは「HG正楷書体」を選びます。

フォントサイズは48で太文字にします。



手順6) 1文字目を入力します。



手順7) 1文字目の下に同様の操作で2文字目を入力します。

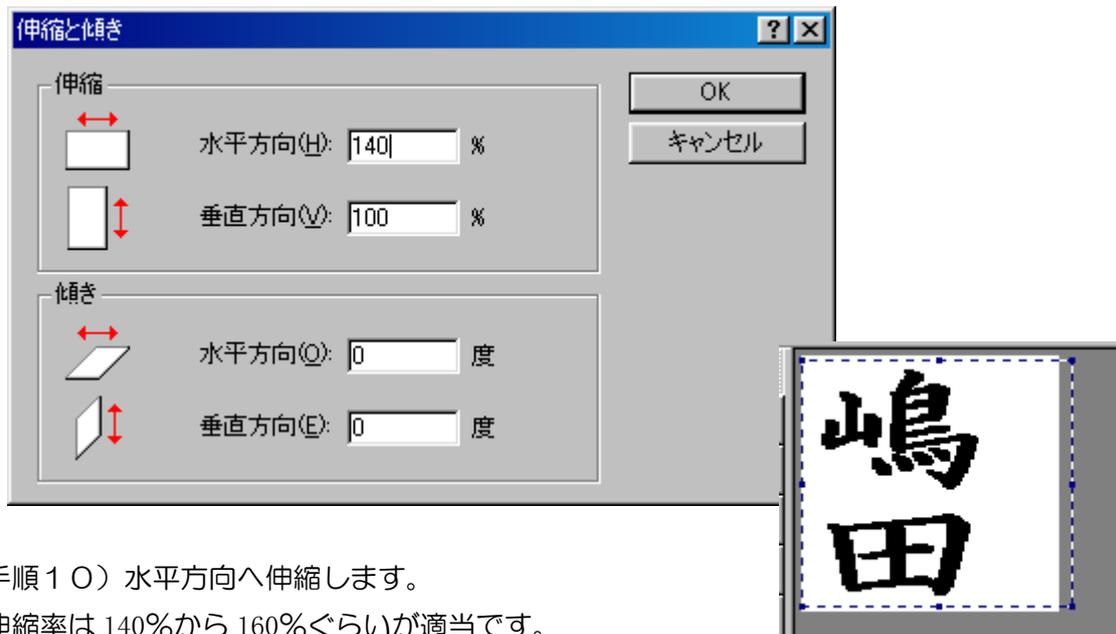


手順8) 挿入した2文字を囲みます。

ボタン  を選択し「嶋田」を囲みます。

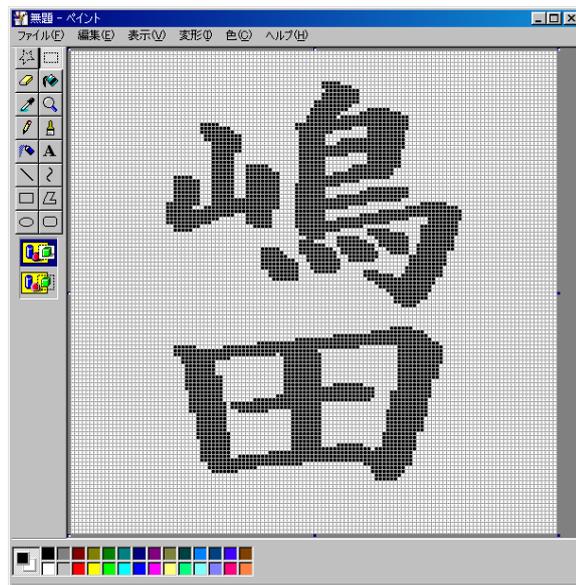


手順9) メニュー「変形」⇒「伸縮と傾き」を選びます。



手順10) 水平方向へ伸縮します。
伸縮率は140%から160%ぐらいが適当です。

手順11) 文字を中央に移動し、文字間を適
詰めます。
表示を拡大し、グリッドを表示すると操作が
易いです。
グリッドの表示はメニューから「表示」⇒「拡
「グリッドを表示」です。



当に
やり
大」⇒

手順1 2) 線の太さを変更するため一旦、ポ  をクリックします。

手順1 3) 線の太さを変えます。



手順1 4) ボタ  を選び、印影の丸を挿入します。



手順1 5) ファイルします。

このときファイルサイズは2 1 1 0バイトになっているはずですが。

注) .印影ファイルをビットマップ 128X128 ドットモノクロで作成すると通常はファイルサイズが2110 バイトになりますが、ペイントブラシ以外のアプリケーションを用いて作成した場合まれに2112 バイトになることがあります。

【対策】一度ペイントブラシで開き、一旦カラーで保存後、再びモノクロで保存してください。2110 バイトになります。